

令和2年度 愛育保育園自己評価（保育園）統計

【評価基準】 A:できている B:ほぼできている C:あまりできていない

☆ 子ども一人一人の健やかな成長と情緒を育み、保護者と地域に愛される保育園を目指す。

保育理念	① 保育理念を年度初めに職員で確認している。	A・B評価が多かったの で、毎年全体の職員会で 共通理解を深める。
	② 職員や保護者などに見やすい場所に掲示している。	
	③ 保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している。	
保育目標	① 目標は、地域の特性を生かし、保護者の願いを反映しているか。	①、②とも高評価である。 引き続き保育目標を確認 し共通理解を図っていく。
	② 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	
指導計画	① 各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	①、②とも高評価である。こ れからも子どもの発達過程 を見通した指導計画の作成 を検討していく。
	② 保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。	
保育・行事	① 一日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。	①～④ともA評価が多い が、③はB評価が7票と なっている。PDCAの体制 づくりをしっかりと行い保育 の振り返りに繋げられる よう取り組んでいきたい。
	② 行事の種類や実施計画は適切であるか。	
	③ 計画・実施・評価・改善(PDCA)の体制がとられているか。	
	④ 保護者の願いや意見を取り入れているか。	
健康管理	① 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、「園だより」「保健だより」などで情報を保護者に提供しているか。	③(感染症マニュアルにつ いて)にC評価が2票あ る。定期的に(流行る時 期)に予防マニュアルを 再確認するなどをして、 職員会・研修などで周知 を図る。
	② 乳幼児の安全確保のために家庭、地域社会、関係機関と連携を図っているか。	
	③ 感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している。	
食事	① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	①にC評価が1票ある。食 育を意識して(畑の野菜 を見る、触れる、育てる、 収穫する、食育に関する 絵本を読む等)楽しく食 事が出来るように工夫し ていく。
	② 食事の状況に基づき調理内容を改善している。	
	③ アレルギー疾患などを持つ子に対し主治医からの指示を得て適切な対応を行っている。	
	④ 間違えがないよう個別のトレーなどで分け調理師同士や保育士と確認している。	
環境	① 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるよう配慮している。	環境整備には全職員が 意識して整えている。ま た季節の花々や野菜を 育てることで季節感を味 わえるようにしている。
	② 園内外の衛生面・安全面に配慮している。	
	③ 園内に子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている。	

保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め受容しようと努めている。	保育内容の項目も、しっかり意識して日々の保育に取り込んでいることがわかる。④はB評価がA評価よりも多い。今年はコロナ禍で散歩や地域社会と関わる機会が制限されて少なかった。
	② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に活動できるような環境が整備されている。	
	③ 様々な表現活動が体験できるように配慮している。	
	④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	
	⑤ 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	
人権尊重	① 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	前回よりもA評価が多くなっている。文化の違いなどを認めたくえて、引き続き日本語の話せない保護者に対して、コミュニケーションをとれるようにしていく。
	② 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう配慮している。	
	③ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	
子育て支援	① 送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じて個別面談を行っている。	A評価が以前に比べて多くなっている。送迎時やおたより帳だけでなく、今年はコロナ感染予防対策のためクラス懇談会がなくなり、代わりに個別面談を行ったことで、より深く保護者とのコミュニケーションが取れたと思う。
	② 家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されている。	
	③ 保育士は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。	
	④ あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。	
地域との連携	① 地域の関係機関などと連携を深めるようにしている(育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が出来ている)	今年はコロナ禍のため、地域のイベントやお祭りに参加出来ず、ボランティアや保育体験などもなかったため、評価できなかった。
	② 地域のイベントやまつりに参加し、地域の人々と交流できる機会を設けている。	
	③ ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。	
安全・危機管理	① 事故や災害に対応できるマニュアルがあり、全職員が手に取り、見る事ができるところにある。	月一度の避難訓練や救急救命の研修も受講し、日頃から防災、ヒヤリハットなど職員間で共通認識持っている。その上で緊急時に対応出来るよう医療機関の連絡先を見えやすいところに表示する。
	② 緊急時、慌てずに対応できるよう、医療機関の連絡先を表示している。	
	③ 事故防止、安全管理のためのチェックリストが作成されている。	
	④ 火事、地震等の事故、災害に対応できるよう計画的に訓練や研修を行っている。	
守秘義務	① 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している。	職員一人ひとりが、守秘義務をしっかり守っている。
	② 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	
組織運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく保育園の運営に関わっている。	A・Bの評価が多い。職員間がお互いの立場を理解し協力しあい、職員配置についても意見や要望などを話し合う機会をもち組織運営の体制強化に努めたい。
	② 職員の配置は適材、適所である。	
	③ 内研修の計画・運営は適切に行われている。	
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っている。	
	⑤ 職員会議は、それぞれが発言しやすい雰囲気の中で行われている。	